



マスコットキャラクター「花びとくん」

エコアクション21

## 環境活動レポート

平成25年度

(活動期間：平成25年7月～平成26年6月)

平成26年8月30日 制定

平成26年10月15日 改定

 株式会社 花菱塗装技研工業

## 目 次

	頁
1. 環境方針、行動指針	3
2. 組織の概要(名称、所在地、事業活動の内容、事業の規模、対象組織)	4・5
3. 平成 25 年度環境目標と目標に対する実績	6
4. 平成 25 年度環境活動の実績と評価	7・8・9
5. 中期目標(平成 26 年度～平成 28 年度)	10・11・12
6. 次年度(平成 26 年度)の環境活動計画(主な取組み内容)	13
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに 違反、訴訟等の有無	14
8. 代表者による全体評価と見直しの結果	14

## 1. 環境方針

# 環境方針

## 基本方針

株式会社花菱塗装技研工業は、事業活動を行うことにより、環境へ多大な影響を及ぼすことを十分に認識し、地球環境の保全と環境負荷を低減するための環境経営システムを構築する。

また、継続的運用にあたっては、社員一人一人が限りある資源の有効利用を社内外に率先垂範することにより、地球環境に優しい企業及び人創りを目指します。

## 行動指針

1. 当社は、地球環境保全への取組みを企業活動の重要課題の一つと位置づけ、全社員を挙げて、環境保全への継続的な改善を行います。
2. 当社は、環境に配慮した塗料等の主要原材料を始め、事業運営にともない使用される電気、化石燃料、水等のエネルギーの削減及び産業廃棄物の排出量の削減に取組み、環境負荷低減型の事業活動を促進します。
3. 当社は、グリーン購入を推進します。
4. 当社は、環境に配慮した塗装を推進します。
5. 当社は、環境関連法規制及びその他の各種協定等を遵守します。
6. 当社は、全社員への環境教育を充実させるとともに、清掃活動等を通し、社会の一員として地域社会に貢献します。
7. 当社は、この環境方針を全従業員に周知徹底し、外部からの要望に対してもこの方針を公開します。

2012年7月2日改定

株式会社花菱塗装技研工業

代表取締役

稲田 健

## 2. 組織の概要

### (1) 事業所名称及び代表者氏名

株式会社 花菱塗装技研工業

代表取締役 稲田 健

(2) 所在地(本社) 〒882-0024 宮崎県延岡市大武町 39 番地 70

(新富支店) 〒889-1403 宮崎県児湯郡新富町大字上富田字井ノ前2370

### (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

・責任者 環境管理責任者 代表取締役 稲田 健

・担当者 EA21推進事務局 企画管理室長 藤田 精二

・連絡先 電話 0982-34-8228

Fax. 0982-21-5190

E-mail hanabishi@hanabisi.co.jp

ホームページURL <http://www.hanabisi.co.jp>

### (4) 事業活動の内容

1. 橋梁塗装
2. 建築塗装
3. プラント塗装
4. プラスト処理
5. 防水加工
6. 発泡ウレタン吹付け塗装
7. 設備・機械等部品の焼付塗装
8. フッ素コーティング加工
9. シルク印刷
10. 自動車部品の加工及び焼付塗装

### (5) 事業の規模

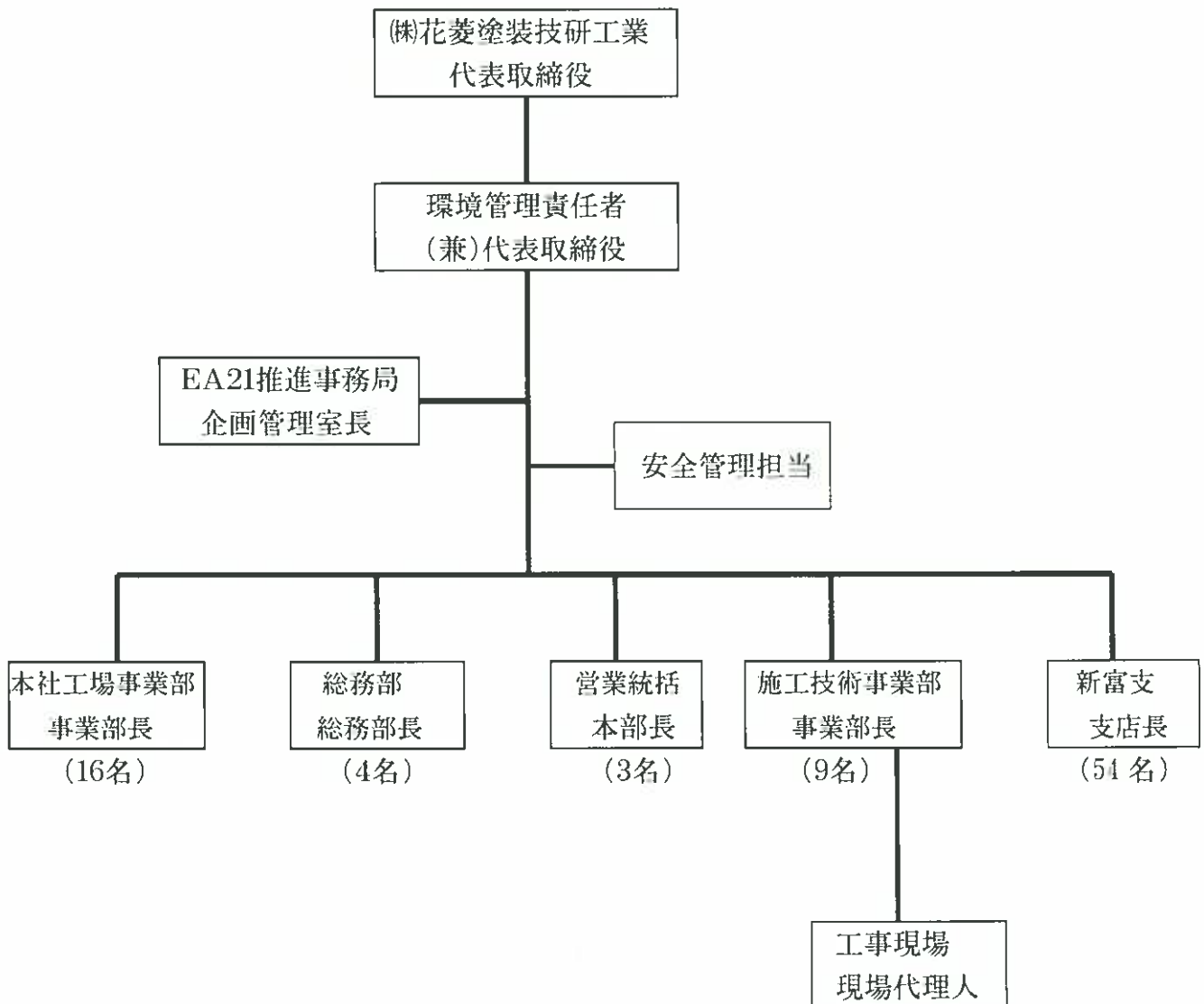
資本金 1,000 万円

設立年月日 昭和 18 年 1 月

	単 位	平成23年度	平成24年度	平成25年度
売上高	百万円	751	782	744
工事件数	件	197	188	215
従業員数	人	69	67	86
延床面積	m <sup>2</sup>	4,300	4,300	4,300

\* 従業員数は年度末の人員数

(6)対象組織



(7)対象範囲

全組織全活動とする。

\* 対象組織の認証範囲拡大経過

本社(総務部・営業本部・施工事業部)	2009年認証登録組織範囲(16名)
本社工場	2010年認証登録組織範囲拡大(16名)
新富支店	2013年認証登録組織範囲拡大(54名)

### 3. 平成 25 年度環境目標と目標に対する実績

\* H25 年度環境目標は、H23 年度実績の 4%削減とする（3 年間で 6%削減目標）

項 目	単 位	目標・実績	本社事務所	本社工場	工事現場	新富支店	全社合計	
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	H25年目標	58,532	329,241	3,640	570,523	961,936	
	kg-CO <sub>2</sub>	H25年実績	57,925	299,898	3,919	552,777	914,519	
	%	目標/実績	101	110	93	82	93	
	購入電力	kWh	H25年目標	37,057	428,378	210	525,703	991,348
		kWh	H25年実績	29,502	363,833	647	544,944	938,926
		%	目標/実績	126	118	32	96	105
	LPG	kg	H25年目標	—	20,246	—	77,872	98,118
		kg	H25年実績	—	22,415	—	69,173	91,588
		%	目標/実績	—	90	—	113	107
	ガソリン	ℓ	H25年目標	15,442	953	624	4,629	21,648
		ℓ	H25年実績	15,605	750	376	2,484	19,215
		%	目標/実績	99	127	166	186	113
	軽油	ℓ	H25年目標	—	1,555	786	1,629	3,970
		ℓ	H25年実績	1387	3,114	1,010	2,229	7,740
		%	目標/実績	—	50	78	73	62
廃棄物排出量	t	H25年目標	0.67	6.78	8.3	38.4	54.15	
	t	H25年実績	1.00	6.20	27.3	41.5	76.00	
	%	目標/実績	67	109	30	93	71	
水資源使用量	m <sup>3</sup>	H25年目標	459	466	33	2,581	3,539	
	m <sup>3</sup>	H25年実績	283	289	213	1,981	2,766	
	%	目標/実績	162	161	16	130	161	
	上水道	m <sup>3</sup>	H25年目標	459	466	33	2,311	3,269
		m <sup>3</sup>	H25年実績	283	289	213	1,711	2,496
	河川水	m <sup>3</sup>	H25年目標	—	—	—	—	—
		m <sup>3</sup>	H25年実績	—	—	35	—	35
	井戸水	m <sup>3</sup>	H25年目標	0	0	0	270	270
		m <sup>3</sup>	H25年実績	0	0	0	270	270
	化学物質使用量	t	H25年目標	—	7.63	4.20	8.50	20.33
t		H25年実績	—	7.05	4.05	5.97	17.07	
%		目標/実績	—	108	104	142	119	
グリーン商品の購入	商品数	H25年目標	100以上	—	—	80以上	180以上	
	商品数	H25年実績	113	—	—	118	231	
粉体塗装の提案推進	件	H25年目標	—	1件/年	—	—	1件/年	
	件	H25年実績	—	1	—	—	1	
環境に配慮の塗装推進	件	H25年目標	—	—	環境活動遵守	—	環境活動遵守	
	件	H25年実績	—	—	遵守	—	遵守	

\* 購入電力の二酸化炭素排出係数は「0.612」を使用しています。

#### 4. 平成 25 年度環境活動の実績と評価

- 評価の表記 : ①取組が完全に実施できている (80%以上)・・・◎  
 ②取組がある程度できている (50～80%未満)・・・○  
 ③取り組みが不足している (30～50%未満)・・・△  
 ④取組がされていない (30%未満)・・・・・・・・×

\* 購入電力の二酸化炭素排出係数は「0.612」を使用しています。

##### (1) 本社事務所の環境活動実績評価

項目	環境活動(主な取組み内容)	単位	目標	実績	評価
二酸化炭素排出量		kg-CO <sub>2</sub>	58,532	57,925	—
電力使用量	・冷暖房設備の適温化を徹底する	kWh	37,057	29,502	◎
	・昼休み等の不必要照明の消灯を徹底する				
ガソリン使用量	・車両整備(タイヤ空気圧等)実施を徹底する	ℓ	15,442	15,605	○
廃棄物排出量	・ごみの分別(分別回収箱利用)を徹底する	t	0.67	1.00	○
	・使用済用紙の裏面利用を徹底する				
水の使用量	・手洗い時、洗い物時等の節水を励行する	m <sup>3</sup>	459	283	◎
グリーン購入の推進	・エコマーク商品の購入	商品数	100以上	113	○

##### (2) 本社工場の環境活動実績と評価

項目	環境活動(主な取組み内容)	単位	目標	実績	評価
二酸化炭素排出量		kg-CO <sub>2</sub>	329,241	299,898	—
電力使用量	・昼休み等の工場内消灯を徹底する	kWh	428,378	363,833	◎
	・電気乾燥炉の稼働効率向上対策の推進				
LPG使用量	・LPG乾燥炉の稼働効率向上対策の推進	kg	20,246	22,415	○
ガソリン使用量	・車両整備(タイヤ空気圧等)実施を徹底する	ℓ	953	750	◎
軽油使用量	・車両整備(タイヤ空気圧等)実施を徹底する	ℓ	1,555	3,114	○
廃棄物排出量	・ブース水槽液微生物の添加による交換頻度抑制	t	6.78	6.20	◎
水の使用量	・塗装ブース散水量適正化の推進	m <sup>3</sup>	466	289	○
化学物質使用量	・指定がない時は、化学物質量の少ない塗料の使用	t	7.63	7.05	○
粉体塗装の提案推進	・粉体塗装物件の拡大	件	1件以上/年	1件	○

(3) 工事現場の環境活動実績と評価

項目	環境活動(主な取組み内容)	単位	目標	実績	評価	
二酸化炭素排出量		kg-CO <sub>2</sub>	3,640	3,919	—	
	電力使用量	・現場事務所の照明等、節電を徹底する	kWh	210	647	○
	ガソリン使用量	・発電機等のエンジン動力不要時の運転停止を徹底する	ℓ	624	376	◎
	軽油使用量	・工事現場動力機器の不要時の運転停止を徹底する	ℓ	786	1,010	○
廃棄物排出量	・プラストサンド回収時の供給水量の適正化(削減)の徹底	t	8.30	27.30	○	
水の使用量	・塗装前水洗い作業の効率化を推進する	m <sup>3</sup>	33	213	○	
化学物質使用量	・指定がない場合は化学物質量の少ない塗料の使用推進	t	4.2	4.05	○	
環境に配慮した塗装の推進	・環境活動計画の遵守	—	遵守	遵守	◎	

(4) 新富支店の環境活動実績と評価

項目	環境活動(主な取組み内容)	単位	目標	実績	評価	
二酸化炭素排出量		kg-CO <sub>2</sub>	570,523	552,777	—	
	電力使用量	・事務所の冷暖房設備の適温化	kWh	525,703	544,944	○
		・工場、事務所の不必要照明の消灯				
	LPG使用量	・LPG乾燥炉運転時の空ラックの削減	kg	77,872	69,173	◎
	ガソリン使用量	・車輛整備実施の徹底	ℓ	4,629	2,484	◎
	軽油使用量	・車輛整備実施の徹底	ℓ	1,629	2,229	○
廃棄物排出量	・廃棄物分別の徹底	t	38.40	41.50	○	
水の使用量	・手洗い、洗い物時等の際の節水励行の徹底	m <sup>3</sup>	2,581	1,981	◎	
化学物質使用量	・指定のない時は含有量の少ない塗料の推進	t	8.50	5.97	◎	
グリーン購入の推進	・事務用品等のエコマーク商品購入の推進	商品数	80以上	118	◎	



(5) 全社（組織の全範囲）の実績と評価

\* H25 年度環境目標は、H23 年度実績の 4 % 削減とする（3 年間で 6 % 削減目標）

項目	環境活動(主な取組み内容)	単位	目標	実績	評価	
二酸化炭素排出量		kg-CO2	961,936	914,519	—	
電力使用量	・事務所の冷暖房設備の適温化 ・工場、事務所の不必要照明の消灯	kWh	991,348	938,926	◎	
						LPG使用量
	ガソリン使用量	・車輛整備実施の徹底	ℓ	21,648	19,215	○
	軽油使用量	・車輛整備実施の徹底	ℓ	3,970	6,353	○
	廃棄物排出量	・廃棄物分別の徹底	t	54.15	76.00	○
水資源使用量	・手洗い、洗い物時等の際の節水励行の徹底	m <sup>3</sup>	3,539	2,766	○	
化学物質使用量	・指定のない時は含有量の少ない塗料の推進	t	20.3	17.1	○	
粉体塗装の提案推進	・粉体塗装物件の拡大	件	1件/年	1件	○	
環境配慮の塗装推進	・環境活動の遵守	—	遵守	遵守	◎	
グリーン購入の推進	・事務用品等のエコマーク商品購入の推進	商品数	180 以上	231	○	

\* 購入電力の二酸化炭素排出係数は「0.612」を使用しています。

(6) 全社（組織の全範囲）の環境活動取り組み結果の考察

①電力使用量

・不要照明消灯の徹底、冷暖房の適温化等の活動の成果で数値目標も達成することができた。

②LPG使用量

・新富支店の生産性向上の取り組みによる乾燥炉の稼働効率向上によるLPG使用量減が主な要因である。

③ガソリン使用量

・新富支店のガソリン燃料社有車（2台）の中の1台をハイブリッド車に変更（H24年7月）した効果がでている。

④軽油使用量

・本社工場・新富支店の売上げ増（H23年対比）及び短納期による製品納入トラックの使用頻度増（走行距離増）が原因による数値目標の未達成である。

⑤廃棄物排出量

・H25年度の塗装工事にサンドブラスト施工（仕様）が1件あったことから、ブラスト施工後の

サンド回収と廃棄（13 トン）が要因で目標数値を達成できなかった。

只、排出量を最小限にすべくドライ回収を実施して廃棄物排出量の削減に努めた。

⑥水の使用量

- ・水資源（上水道）を主に使用（約 70%）する新富支店での節水（数値目標の 30% 減）活動の効果と考える。

⑦化学物質使用量

- ・当社で塗料の選定ができる範囲は限られているが、その中で化学物質含有量の少ない製品を選定することを推進することができている。

⑧グリーン商品の購入

- ・グリーン商品が多くの分野で市場に流通している効果で数値目標を大きくクリアすることができた。

⑨粉体塗装の提案推進（粉体塗装の拡大）

- ・H25 年度は、粉体塗装の提案による新規受注の 1 件を拡大し、数値目標を達成できた。

⑩環境に配慮した塗装の推進

- ・主に塗装工事（工事現場）で推進しているが、施工時の関連法令の遵守は当然のこととし、その他に塗料指定がない場合は化学物質含有量の少ない塗料を使用する等の環境に配慮した塗装の推進ができている。

## 5. 中期環境目標（平成 26 年度～平成 28 年度）

環境目標（中期）は平成 23 年度実績を基準として毎年 2%（平成 28 年度までに 10%）を削減することとし、次のとおり定めた。なお、従来と同様に「本社事務所」「本社工場」「工事現場」「新富支店」の環境活動単位で各々の中期環境目標を定めて環境活動を実施する。

なお、各環境活動単位で平成 23 年度実績を基準値として、毎年 2% 削減を環境目標とする。

(1) 本社事務所		(基準値)	基準－4%	基準－6%	基準－8%	基準－10%
項目	単位	H23 年実績	H25 年実績	H26 年目標	H27 年目標	H28 年目標
・二酸化炭素排出量	kg-CO2	60,971	57,925	57,312	56,093	54,873
電力使用量	kWh	38,602	29,502	36,285	35,513	34,741
ガソリン使用量	ℓ	16,086	15,605	15,120	14,799	14,477
軽油使用量	ℓ	新規に追加	1,387	1,359	1,331	1,303
・廃棄物排出量	t	0.70	1.00	0.65	0.64	0.63
・水使用量	m <sup>3</sup>	479	283	450	4.40	431
・グリーン商品の購入	商品数	—	113	100 以上	100 以上	100 以上

\* 軽油使用量の削減目標を H26 年度から新規に追加し、H25 年度実績を基準に毎年 2% 削減を目標とする。

(2)本社工場		(基準値)	基準-4%	基準-6%	基準-8%	基準-10%
項 目	単 位	H23 年実績	H25 年実績	H26 年目標	H27 年目標	H28 年目標
・二酸化炭素排出量	kg-CO2	342,960	299,898	322,382	315,523	308,664
電力使用量	kWh	446,228	363,833	419,454	410,529	401,605
LPG使用量	Kg	21,090	22,415	19,824	19,402	18,981
ガソリン使用量	ℓ	993	750	933	913	893
軽油使用量	ℓ	1,620	3,114	1,522	1,490	1,458
・廃棄物排出量	t	7.07	6.20	6.64	6.50	6.36
・水使用量	m <sup>3</sup>	486	289	456	447	437
・化学物質使用量	t	7.95	7.05	7.47	7.31	7.15
・粉体塗装の推進(拡大)	件数/年	—	1件	1件以上	1件以上	1件以上

(3)工事現場		(基準値)	基準-4%	基準-6%	基準-8%	基準-10%
項 目	単 位	H23 年実績	H25 年実績	H26 年目標	H27 年目標	H28 年目標
・二酸化炭素排出量	kg-CO2	3,792	3,919	3,564	3,488	3,412
電力使用量	kWh	219	647	205	201	197
ガソリン使用量	ℓ	650	376	611	598	585
軽油使用量	ℓ	819	1,010	769	753	737
・廃棄物排出量	t	8.70	27.3	8.10	8.00	7.83
・水使用量	m <sup>3</sup>	35	213	32	32	31
・化学物質使用量	t	4.38	4.05	4.11	4.02	3.94
・環境に優しい塗装の推進	—	活動計画遵守	遵守	遵守	遵守	遵守

(4)新富支店		(基準値)	基準－4%	基準－6%	基準－8%	基準－10%
項 目	単 位	H23 年実績	H25 年実績	H26 年目標	H27 年目標	H28 年目標
・二酸化炭素排出量	kg-CO2	594,295	552,777	558,637	546,751	534,865
電力使用量	kWh	547,608	544,944	514,751	503,799	492,847
LPG使用量	kg	81,117	69,173	76,249	74627	73,005
ガソリン使用量	ℓ	4,822	2,484	4,532	4,436	4,339
軽油使用量	ℓ	1,697	2,229	1,595	1,561	1,527
・廃棄物排出量	t	40.00	41.50	37.60	36.80	36.00
・水(上水)使用量	m <sup>3</sup>	2,689	1,981	2,527	2,473	2,420
・化学物質使用量	t	8.90	5.97	8.30	8.10	8.01
・グリーン購入の推進	商品数	—	74	80 以上	80 以上	80 以上

(5) 全社(全組織)		(基準値)	(基準－4%)	基準－6%	基準－8%	基準－10%
項 目	単 位	H23 年実績	H25 年実績	H26 年目標	H27 年目標	H28 年目標
・二酸化炭素排出量	kg-CO2	1,002,018	914,519	941,896	921,856	901,816
電力使用量	kWh	1,032,657	938,926	970,697	950,044	929,391
LPG使用量	kg	102,207	91,588	96,074	94,030	91,986
ガソリン使用量	ℓ	22,551	19,215	21,197	20,746	20,295
軽油使用量	ℓ	4,136	6,353	3,887	3,805	3,722
・廃棄物排出量	t	56.43	76.00	53.04	51.92	50.79
・水使用量	m <sup>3</sup>	3,688	2,766	3,466	3,392	3,319
・化学物質使用量	t	21.20	17.07	19.92	19.50	19.08
・グリーン購入の推進	商品数	—	231	180 以上	180 以上	180 以上
・粉体塗装の推進(拡大)	件	—	1 件	1 件以上	1 件以上	1 件以上
・環境に優しい塗装の推進	—	環境活動遵守	環境活動遵守	環境活動遵守	環境活動遵守	環境活動遵守

## 6. 次年度(平成 26 年度)環境活動計画(主な取組み内容)

### (1) 本社事務所における環境活動計画

- ・冷暖房使用時の適温化（冷房 28℃程度、暖房 20℃程度）の徹底
- ・昼休みや残業時には、不必要な照明の消灯の徹底
- ・車輛整備（タイヤ空気圧、オイル交換等）の徹底
- ・ごみの分別（分別回収ボックス使用）の徹底
- ・使用済み用紙の裏面利用の徹底
- ・手洗い時、洗い物時等の際の節水励行の徹底
- ・毎週の漏水チェックの実施
- ・事務用品等のグリーン購入を推進する

### (2) 本社工場における環境活動計画

- ・休憩時間等不稼働時の工場内消灯の徹底
- ・休憩室エアコンの稼働を必要最小限にする
- ・LPG乾燥炉の稼働効率向上対策の推進  
（塗装製品の乾燥焼付を可能な限り纏めて実施する）
- ・塗装ブース水槽液の交換頻度の削減  
（微生物薬剤投入による水槽液の長期使用）
- ・車輛整備（タイヤ空気圧、オイル交換等）の徹底
- ・製品納入用トラックの効率向上（納期の許容範囲で纏めて納品する）
- ・塗装ブース散水の適正化（散水頻度と量）
- ・顧客の塗料指定がない場合は、化学物質含有量の少ない塗料の使用を推進
- ・粉体塗装の提案推進

### (3) 工事現場における環境活動計画

- ・現場事務所の照明等、節電の徹底
- ・発電機等のエンジン動力不要時の運転停止の徹底
- ・ブラスト使用サンド回収時の供給水量の削減（可能であればドライ回収を推進）
- ・水洗い作業の効率化の推進
- ・顧客の塗料指定がない場合は、化学物質含有量の少ない塗料の使用を推進
- ・環境に優しいエコ塗装の推進

### (4) 新富支店における環境活動計画

- ・休憩時間等不稼働時の工場内消灯の徹底
- ・休憩室エアコンの稼働を必要最小限にする
- ・LPG乾燥炉の稼働効率向上対策の推進
- ・車輛整備（タイヤ空気圧、オイル交換等）の徹底

- ・製品納入用トラックの整備（タイヤ空気圧、オイル交換等）の徹底
- ・分別廃棄の徹底
- ・手洗い時、洗い物時等の際の節水励行
- ・顧客の塗料指定がない場合は、化学物質含有量の少ない塗料の使用を推進
- ・事務用品等のグリーン購入を推進

## 7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

### (1) 事業活動に関連する主な法規

法令等の名称	内 容	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	事業活動及び工事等で発生する廃棄物	遵守
消防法	塗料・シンナーの保管方法や保管数量	遵守
電気事業法	電気工作物の点検	遵守
高圧ガス法・LPガス法	ガス発生装置の点検	遵守
化学物質排出把握管理促進法	P R T R届出	遵守
道路交通法	道路占用	遵守
有機溶剤中毒予防規則	有機溶剤取扱い作業	遵守
延岡市環境基本条例	事業者の環境に関する責務	遵守
新富町の環境をまもる条例	事業者の環境に関する責務	遵守
新富町河川をきれいにする条例	事業者の事業排水に関する責務	遵守
労働安全衛生法	作業環境測定、健康診断	遵守
建設業法	建設業許可	遵守

### (2) 違反訴訟などの有無

当社の事業活動に関わる環境関連法規などの遵守状況を確認した結果、違反はありません。また、行政等関係機関からの指摘、違反及び訴訟もありませんでした。

## 8. 代表者による全体評価と見直しの結果

当社環境活動の最重要項目に位置付ける「二酸化炭素排出量の削減」に於いて、目標値をクリアしたことは環境活動の成果であると評価する。なお、産業廃棄物排出量削減の目標値を達成する為には新しい対策の検討が必要である。